



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社

コード番号 8098 URL <https://www.inabata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務経営管理室長 (氏名) 農田 康一 TEL 03-3639-6421

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	267,188	△13.1	6,212	△12.8	6,948	△12.5	5,851	△13.2
2020年3月期第2四半期	307,615	△4.6	7,126	0.3	7,941	11.0	6,738	7.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 11,583百万円 (一%) 2020年3月期第2四半期 △9,094百万円 (一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	97.20	—
2020年3月期第2四半期	111.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	310,456	156,452	49.8
2020年3月期	322,848	147,726	45.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 154,699百万円 2020年3月期 145,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	33.00	53.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	33.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△8.4	12,000	△9.3	12,700	△10.6	10,500	△8.0	174.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	63,499,227株	2020年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,302,640株	2020年3月期	3,302,640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	60,196,587株	2020年3月期2Q	60,496,725株

(注) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は「期末自己株式数」及び「期中平均株式数 (四半期累計)」の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の世界的大流行の影響により、米国、中国をはじめ、欧州ユーロ圏の主要国、アジアの新興国など、幅広い国々や地域において、依然として厳しい状況にあります。下げ止まりや持ち直しの動きもみられてきました。

一方、日本経済も感染症の影響により、雇用情勢に弱い動きがみられ、企業収益も大幅な減少となり厳しい状況が続きました。個人消費や輸出には持ち直しの動きがみられますが、先行きに対する不透明感は高く、引き続き厳しい状況が見込まれます。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、267,188百万円（対前年同期比13.1%減）となりました。利益面では、営業利益6,212百万円（同12.8%減）、経常利益6,948百万円（同12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,851百万円（同13.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

《情報電子事業》

情報電子事業は、主要商材の販売が低調に推移し、売上が減少しました。

液晶関連では、偏光板の販売がシェアダウンにより減少しました。偏光板原料の販売は、TV・ノートPC向けパネルの生産好調により、堅調でした。

LED関連では、屋外ディスプレイ向け材料の販売が減少しました。

インクジェットプリンター関連では、感染症の影響により、コンシューマー分野はテレワークが進み関連材料の販売が増加しました。産業用分野では、商業印刷が冷え込み、関連材料の販売が低調に推移し、全体として横ばいでした。

複写機関連では、テレワークの拡大により、オフィスでのトナー需要が大きく減少し、関連材料の販売が減少しました。

太陽電池関連は、大型システム案件の納入がなかったことに加え、感染症の影響により主要顧客の稼働が停止、低下となり、関連材料の販売が減少しました。二次電池関連では、新規ビジネスがスタートし、関連材料の販売が伸長しました。

フォトマスク関連は、需要減により関連材料の販売が減少しました。

半導体、電子部品関連は車載向けが不調でしたが、5Gなどの通信、データセンター向けが堅調に推移し、全体として横ばいでした。

これらの結果、売上高は106,399百万円（同3.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は貸倒引当金の戻し入れもあり、3,331百万円（同37.9%増）となりました。

《化学品事業》

化学品事業は、感染症の影響により自動車向けの原料販売などが低調に推移し、売上が減少しました。

樹脂原料・添加剤の販売は、総じて低調でした。

自動車部品業界向け原料の販売は、回復基調にあるものの、東南アジア向けを中心に低調でした。

塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、包装材料向けが横ばいでしたが、全体として減少しました。

製紙業界向け薬剤の販売は、減少しました。

建築資材関連は、住宅着工件数の減少もあり販売が低調でした。

これらの結果、売上高は30,723百万円（同16.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は416百万円（同38.3%減）となりました。

《生活産業事業》

生活産業事業は、ライフサイエンス関連、食品関連共に感染症の影響により、売上が減少しました。

ライフサイエンス関連では、環境規制や感染症の影響により中国からの供給再開が遅延したこともあり、医薬原料の販売が減少しました。

ホームプロダクツ分野は、防・殺虫剤関連の販売が堅調でした。

食品関連では、国内において量販店、外食産業向け輸入水産加工品の販売が減少しました。回転寿司向け魚の加工品の販売は、感染症の影響から回復し、伸長しました。米国では外食産業向けのシーフード商品の販売が減少しました。

農産品では、巣ごもり需要により冷凍野菜や冷凍果実の国内向け販売が好調でした。韓国向けの冷凍ブルーベリーの販売が伸長しました。

これらの結果、売上高は16,700百万円（同9.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は537百万円（同10.7%減）となりました。

《合成樹脂事業》

合成樹脂事業は、回復基調にあるものの、樹脂価格下落や感染症の影響が継続し、売上が減少しました。

汎用樹脂関連では、一部の食品関連向けやPC・ゲーム機関連を除き、総じて販売が減少しました。

高機能樹脂関連では、自動車関連、OA関連、電気・電子関連と全分野において、国内外で販売が減少しました。特に分野別では自動車分野、地域別では東南アジアにおいて、販売が大きく減少しました。

フィルム関連では、野菜用の食品包材の販売は、在庫調整もあり低調でした。コンビニ・外食・行楽関連向けの販売は減少しました。

シート関連では、コンビニ・ファストフード向け飲料用の販売が減少しました。

スポーツ資材関連では、国内外でスポーツイベントや大会等の中止が相次ぎ、グリップテープの販売が大きく減少しました。

これらの結果、売上高は113,279百万円（同20.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1,861百万円（同44.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて12,391百万円減少（対前期末比3.8%減）し、310,456百万円となりました。

流動資産の減少20,106百万円は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品が減少したこと等によるものであります。

固定資産の増加7,714百万円は、主に投資有価証券が時価の上昇に伴い増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて21,117百万円減少（同12.1%減）し、154,003百万円となりました。

流動負債の減少20,872百万円は、主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金が減少したこと等によるものであります。

固定負債の減少245百万円は、主にその他が増加したものの、長期借入金が減少したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて8,726百万円増加（同5.9%増）し、156,452百万円となりました。これは、主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%（前連結会計年度末より4.6%ポイント増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、短期借入金の純減少額及び仕入債務の減少額が売上債権の減少額、たな卸資産の減少額、投資有価証券の売却による収入並びに利息及び配当金受取額を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比して2,172百万円減少の23,308百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は13,822百万円（前年同期は988百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額、税金等調整前四半期純利益及びたな卸資産の減少額が仕入債務の減少額を上回ったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は351百万円（前年同期は198百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出が定期預金の払戻による収入及び投資有価証券の売却による収入を上回ったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は15,618百万円（前年同期は5,270百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額及び配当金の支払額等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月6日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,440	28,104
受取手形及び売掛金	152,457	140,003
商品及び製品	52,052	46,144
仕掛品	766	543
原材料及び貯蔵品	3,084	2,693
その他	8,022	8,208
貸倒引当金	△686	△668
流動資産合計	245,136	225,030
固定資産		
有形固定資産	13,964	13,749
無形固定資産	3,006	2,978
投資その他の資産		
投資有価証券	54,236	61,594
退職給付に係る資産	2,007	2,050
その他	12,312	12,033
貸倒引当金	△7,815	△6,980
投資その他の資産合計	60,740	68,698
固定資産合計	77,711	85,426
資産合計	322,848	310,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,761	85,270
短期借入金	43,073	32,450
未払法人税等	1,631	2,266
賞与引当金	1,217	1,387
事業整理損失引当金	240	32
その他	7,852	8,496
流動負債合計	150,776	129,904
固定負債		
長期借入金	9,775	7,759
役員退職慰労引当金	30	28
役員株式給付引当金	85	106
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	2,369	2,525
その他	12,065	13,661
固定負債合計	24,344	24,099
負債合計	175,121	154,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,752	7,184
利益剰余金	106,197	110,058
自己株式	△4,155	△4,155
株主資本合計	119,159	122,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,196	32,112
繰延ヘッジ損益	148	118
為替換算調整勘定	1,436	900
退職給付に係る調整累計額	△1,016	△883
その他の包括利益累計額合計	26,764	32,246
非支配株主持分	1,802	1,753
純資産合計	147,726	156,452
負債純資産合計	322,848	310,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	307,615	267,188
売上原価	284,073	246,453
売上総利益	23,541	20,735
販売費及び一般管理費	16,415	14,522
営業利益	7,126	6,212
営業外収益		
受取利息	94	96
受取配当金	1,197	795
持分法による投資利益	167	127
雑収入	388	421
営業外収益合計	1,847	1,442
営業外費用		
支払利息	760	382
為替差損	123	144
雑損失	147	179
営業外費用合計	1,032	705
経常利益	7,941	6,948
特別利益		
投資有価証券売却益	1,721	1,419
特別利益合計	1,721	1,419
税金等調整前四半期純利益	9,663	8,368
法人税、住民税及び事業税	2,656	2,312
法人税等調整額	40	△8
法人税等合計	2,697	2,303
四半期純利益	6,966	6,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	227	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,738	5,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,966	6,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,530	5,845
繰延ヘッジ損益	58	△30
為替換算調整勘定	△1,710	△507
退職給付に係る調整額	105	133
持分法適用会社に対する持分相当額	15	78
その他の包括利益合計	△16,061	5,518
四半期包括利益	△9,094	11,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,295	11,332
非支配株主に係る四半期包括利益	201	250

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,663	8,368
減価償却費	1,445	1,464
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△127	△1,095
受取利息及び受取配当金	△1,292	△892
支払利息	760	382
持分法による投資損益 (△は益)	△167	△127
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,721	△1,419
売上債権の増減額 (△は増加)	2,679	11,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,155	6,034
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,778	△135
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	34	447
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,604	△11,007
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△258	647
その他	536	484
小計	2,881	14,826
利息及び配当金の受取額	1,418	1,078
利息の支払額	△768	△386
法人税等の支払額	△2,542	△1,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	988	13,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,036	△2,425
定期預金の払戻による収入	1,129	1,631
有形固定資産の取得による支出	△871	△939
有形固定資産の売却による収入	21	29
無形固定資産の取得による支出	△528	△167
投資有価証券の取得による支出	△109	△18
投資有価証券の売却による収入	1,773	1,485
子会社株式の取得による支出	△22	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△134	121
長期貸付けによる支出	△24	△90
長期貸付金の回収による収入	21	24
その他	△19	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	198	△351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,530	△12,355
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	△2,179	△129
配当金の支払額	△1,702	△1,996
非支配株主への配当金の支払額	△217	△312
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△557
その他	△241	△267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,270	△15,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△413	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,496	△2,172
現金及び現金同等物の期首残高	23,011	25,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,514	23,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、当社取締役（業務執行取締役等でない取締役を除く。）の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットだけでなく、株価下落リスクも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託（BBT）」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前第2四半期連結会計期間末164百万円、100,000株、当第2四半期連結会計期間末164百万円、100,000株であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	110,440	36,705	18,344	142,036	307,527	88	307,615	—	307,615
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	110,440	36,705	18,344	142,036	307,527	88	307,615	—	307,615
セグメント利益	2,415	675	602	3,364	7,058	68	7,126	—	7,126

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	106,399	30,723	16,700	113,279	267,103	85	267,188	—	267,188
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	106,399	30,723	16,700	113,279	267,103	85	267,188	—	267,188
セグメント利益	3,331	416	537	1,861	6,147	64	6,212	—	6,212

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。